

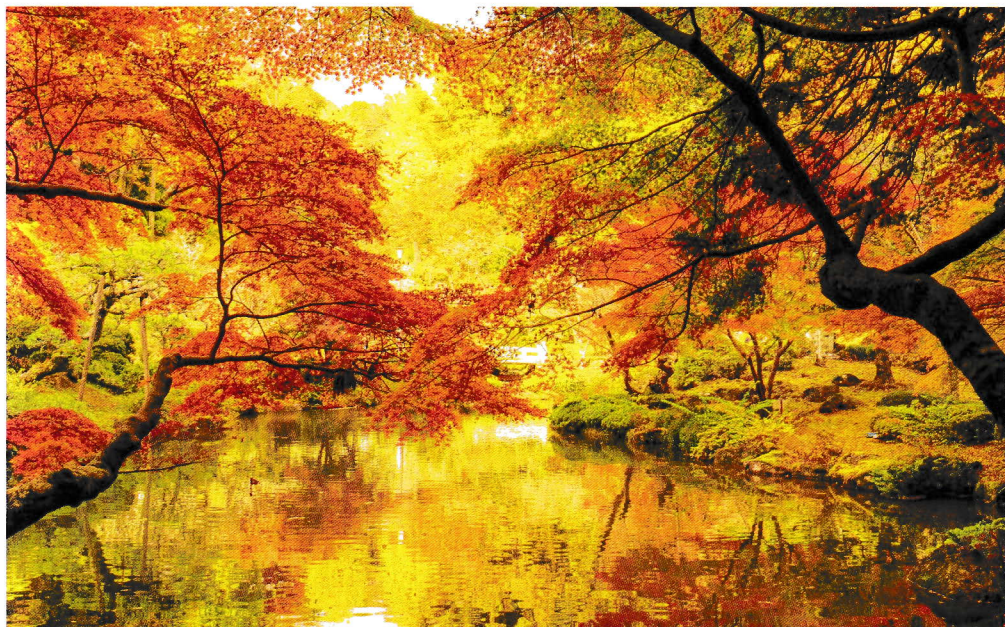
寺報

令和7年(2025)秋彼岸会号 第163号(1)

発行 福島市田沢字寺前18
長秀院・仲興寺
TEL 024(548)1240
FAX 024(573)1202
ホームページ <http://www.choshuin.jp/>
e-mail choshuin@rainbow.plala.or.jp



発行責任 渡辺 祥文
編集責任 渡辺 秀憲



秋彼岸会



彼岸会は亡き人やご先祖の恩に感謝し、自らも七日間修行の期間を実行するときです。そのはじめは、延暦二十五年(八〇六年)朝廷より春分秋分の季節に供養のために全国で読経供養を行うよう詔が^{みことのり}発せられたことによります。後に日本独自の仏教行事として江戸時代に全国に広まりました。

日本人は太陽が真東から昇り真西に沈む自然の摂理にも何か尊いものを感じたのでしょう。農耕儀礼等とも連動して今の形になったと伝えられています。

お彼岸の一週間、大切な供養と修行の期間としてお過ごしください。

案内板

仲興寺

○九月十七日(水)

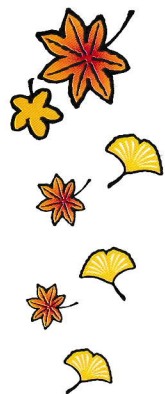
午前十時

秋彼岸供養・念仏供養
(マスク、ポリ手袋使用
で行います)

○十月二十二日(水)

福島県宗務所主催
梅花流福島県奉詠大会
(於 福島市・パルセ飯坂)

◎新型コロナウイルスもまた
た新型株流行のきざし
が見えてきました。皆
様もご注意くださいこ
とを申し上げます。



令和七年 秋彼岸会

山主拝

雲水日記 その二十一

渡辺 秀憲

田んぼの稲が色づいて、ようやく秋の入りが見えてまいりました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。

前回に引き続き、今回も私が配属された部署「直歳寮」についてです。

永平寺の建物の維持・管理を担当する部署であると前回で説明しました。建物の老朽化の程度を把握し、他の部署と協議したうえで補修や建て替えを主導するのが一番のお役目になります。ただし、それは部署を取りまとめる役寮、直歳老師の務め。

その補佐役である我々一年目の修行僧は「直行」(直歳の行者(そば仕え)の意)というお役目を与えられ、直歳老師の手足となって境内の維持のために駆け回ります。といっても建物の建て替えや補修、土木作

業機械や草刈り機の運用などは、技術や安全の観点から業者さんや永平寺で雇用している従業員さんが行います。我々直行たちができるのは、巷で「お寺の修行」と聞くと三番目くらいには必ず挙げられるであろう古典的で伝統的な、お掃除。ひたすら箒と塵取りで埃や葉っぱを集め、雑巾で床を磨くのです。

当時は、法要や作務、坐禅がない合間の時間はひたすら掃き掃除、雨が降ってきたら廊下を拭きに行くという決まりがありました。永平寺では一ヶ月のうち三と八が付く日に特に集中して作務を行い、四と九のつく日は作務をお休みとする定めがありますが、直歳寮は三百六十五日暇があったら作務。

特に私が配属された十一月は、落ち葉の季節。境内には庭木が多く、さらに山を背負っているため、ひどいときには一通り掃き終わって振り返ったらもう元通り、なんてことも。

「山門の前は永平寺の顔。常に見回って、落ち葉の一つもないように」

山門前にあるのは、五代目の住職義雲禪師が植樹したといわれる、樹齢七百年の「五代杉」。そんなありがたさに思いを馳せる余裕もなく、ただひたすら黙って手を動かします。たとえ明日には元通りになっていたとしても、いつでも清掃された永平寺を維持するため、直行たちは今日も今日とて箒を片手に走り回るので。



そんな日々が続き、永平寺の冬支度も終えた十二月中旬、長秀院・仲興寺の檀信徒三十名の皆様が永平寺参拝団として上山されました。わずかな時間でしたがお会いすることができ本当に感激いたしました。普通お見送りなどできないのですが、直歳老師のご配慮で皆様の出発の時間にお見送りできるよう、通用門前の掃き掃除に配置頂きました。

参拝団出発のとき、皆様から「頑張つてね!!」「体に気をつけてください!!」「帰ってくるの待ってます!!」等のはげましを頂き、嬉しくて、また涙をこらえて笑いながらお見送りしました。仲間の直歳寮の皆も一緒に手を振ってくれましたのでありがたかったです。

そして、いよいよ直歳寮にはたいへんな雪の季節を迎えるのでした。



大本山永平寺参拝記念 長秀院・仲興寺本山参拝団

平成30年12月12日

住所変更・家門の代表者変更
の場合は長秀院・仲興寺へ
ご連絡ください

今年も秋彼岸となり日照時間も短くなりました。現在も新型コロナウイルス・インフルエンザ等が未だに流行しているようです。充分気を付けてお過ごしください。

大震災・原発事故・コロナ禍以後、引越をされる方も多くなりました。つきましては、住所変更のご連絡をお願い致します。手紙・葉書・ファックス等、住職の手許に残る形で、ご連絡頂きますようお願い申し上げます。また家門代表者変更の場合もご連絡頂きますようお願い申し上げます。

長秀院・仲興寺兼務住職 渡辺 祥文

檀信徒各位



盆踊り大会の様子 (8月15日)



SNS新設



FaceBook アカウントを1年前から開設しております。各種行事のお知らせやご報告をのせています。ご覧ください。



電話 〇二四一五四八一二四〇
FAX 〇二四一五七三一二〇二

住職が法務で不在となることも多くありますので、ご来山前にお電話等で必ず確認をお願いいたします。

おねがい



— ありがとうございます —

● 仲興寺 清掃奉仕

仲興寺有志様

● 長秀院 清掃奉仕

清水町町会様

● 長秀院 役員様

長秀院有志会様